



# みやこ 市議会だより

第14号

平成20年12月議会



## アワビの選別作業

—音部漁港にて—

アワビ漁の口開けの日、水揚げしたアワビは検査台にあげられる。台の上のアワビは小判のように美しい。

『ガラガラ』と貝がぶつかり合う音を立てながら、活アワビ、キズ、ヤセなどに選別する。活アワビの水揚げは、漁家平均約35kgの好漁だ。

しかし、今年の浜値は去年より安く厳しい。浜人や浜迎えの家族は「値の安い方に選別されないように」と目を光させていた。

■年頭の挨拶	2P
■12月定例議会補正予算	3P
■可決された主な条例など	4P
■一般質問	4P~9P
■行政視察報告—総務常任委員会—	10P
—議会運営委員会—	10P
■煙台市で大歓迎を受けて	11P
■議会のうごき	11P
■傍聴席、請願・意見書	12P
■編集後記	12P



## 年頭の挨拶

A black and white portrait of Dr. Toshiaki Kondo, a man with short hair, wearing a dark suit, white shirt, and patterned tie. He is smiling slightly and looking towards the camera.

議長三上

卷之三

新年明けましておめでとうございます。  
市民の皆様におかれましては、輝かしい新年を迎えたとは言い難いと思つております。

昨年來からの米国の金融危機に端を発した  
世界的景気後退、そして我が国の雇用問題は  
当市においても市民生活に暗い影を落とすこ  
ととなり、新年を寿ぐ気持ちも半減してしま  
いました。

私ども市議会議員に与えられた任期も残り一年余りとなりました。この残された任期中今般の雇用問題の解消はもちろんのこと、地域産業の振興、市民福祉の向上、防災対策の推進等、山積する諸課題の解決に向け、精一杯頑張って参ります。

また、市議会では、議会・議員の活動原則と議員の政治倫理に関する規律のそれぞれの基本を定める「議会基本条例」「議員政治倫理条例」の制定に向け議論を重ねており、併せて議員定数の在り方につきましても検討を進めているところであります。

今後、皆様のご意見をお聞きしながら成案を取りまとめ、皆様の信託に的確に応える議会にして参りますので、ご協力をお願ひします。

今年一年、皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げますとともに、少しでも明るく希望の持てる年になることを願いまして年頭の挨拶といたします。

副議長

高屋敷山口都宮葉  
千工宇都宮  
佐々木頭束藤  
横崎佐木尾田  
坂本坂山崎  
近加坂本坂山崎  
阿松藤茂田城佐  
中前竹佐々  
孝榮昌邦武尚光敏愛勝俊正賢悅時有松久小勝吉胤  
則輝榮登彥善功美昭之尚彥勝定郎明三夫男誠平夫雄論  
曹藏嗣  
百合  
幸

(議席番号順です)

# 12月定例議会

# 福祉灯油購入費助成金など

# 2億4千400万円を補正可決

○白浜・姉吉地区避難誘導標識板設置工事費	300万円
○中学校施設補修工事費	600万円
○小学校施設補修工事費	3千580万8千円
○元和井内地区公民館解体費 調査費繰出金	1千757万8千円
○福祉灯油購入助成費	250万円
○巡回船誘致の福祉施設建設 調査費繰出金	3千757万8千円
○歳出補正の主なものは、人件費の補正ほか、	2億4千391万3千円を追加するものです。歳入補正の主なものは、前年度繰越金2億4千801万円、地方交付税2億1千825万9千円、財政調整基金繰り入れの減額補正です。

議員から本件の増額の要因に、一部に外的要因もあるが、あまりにも大幅な増額補正は認められない。また、浄土ヶ浜にふさわしいデザイン構造にするべきだなどの理由で債務負担行為の分を削除する修正案が提出されました。審議のあと採決の結果、修正案が賛成（19）反対（9）で可決されました。

補正予算審議では、一般会計の浄土ヶ浜地区整備事業に伴う請負工事にかかる債務負担行為補正の増額が議論の争点になりました。市当局は、浄土ヶ浜レストハウスの解体と建設工事費に、新たに杭工事や、屋根型形状変更、受水槽の見直しなどを理由に債務負担行為の1億9千2百万円の追加補正の提案がありました。

平成20年度一般会計補正予算（第5号）は、既定予算に2億4千391万3千円を追加するものです。歳入補正の主なものは、前年度繰越金2億4千801万円、地方交付税2億1千825万9千円、財政調整基金繰り入れの減額補正です。

歳出補正の主なものは、人件費の補正ほか、

## ○その1 2つの議案を修正可決



○その2

学校給食センターの調理、配送業務の民間委託など条例の一部改正

一部改正は、市税や手数料などの納入をコンビニエンスストアでもできるようにするものと、学校給食センターの調理業務、給食配送業務を民間業者に長期委託しようと提案されました。

さらに、食材の調達では、地元で生産される食材の生産・加工・流通から消費に至る各段階での安全が図られる地元での食料供給率の向上とともに、食を生み出す農林水産業の振興が図られることから、食産業・食品加工業など第二次産業の振興に直結する事例が期待される。

トハウツ  
議員から民間業者委託では、市が民間業者への指示・指導を直接行うことは、偽装請負にに関する労働省告示に抵触することになり、栄養士職員が直接指導・指示できない問題が発生し、学校給食の安全・安心が担保できなくなる。

3

## 可決された 主な条例など

### ○条例

- ◇宮古市特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部を改正する条例（不適切経理に伴い市長及び副市长の給料月額を減額するもの）
- ◇宮古市教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例（不適切経理に伴い教育長の給料月額を減額するもの）
- ◇宮古市国民健康保険条例の一部を改正する条例（産科医療保障制度に加入した医療機関等で出産した場合の一時金を38万円にするもの）
- ◇宮古市保育所条例の一部を改正する条例（藤原保育所を廃止し、小山田保育所の定数を120人にするもの）
- ◇宮古市児童館条例の一部を改正する条例（高浜及び田老児童館の管理を指定管理者に行わせるもの）
- ◇宮古市立学校給食共同調理場条例の一部を改正する条例（田老地区給食センターを市立学校第二給食センターに改め対象校を定めるもの）
- ◇宮古市長期継続契約を締結することができる契約を定める条例の一部を改正する条例（税などの徴収または収納事務をコンビニエンスストアでも取り扱えるようにするもの）

# 一般質問 ◆◆施策を問う◆◆

12月9日から12月10日の2日間、一般質問が行われました。質問者は11名で、合併や景気対策、医療問題などについて議論されました。その要旨を紹介します。

### 質問 公立保育所の民営化の見直しを！

答弁 多様化するニーズに応える

坂本 悅夫



問

保育指針が平成21年度から遵守すべき法令として示された証しもある。保育所は現在、単なる母親の就労支援のための施設ではない。

やりくりしなければならず、あれもこれもやれと言つても日常の保育水準を維持するだけで精一杯だと思いますがどうか伺う。

答

民間委託する場合は公立保育所水準を守るようお願いする。サービスの拡大についてはそれを見合う費用は考える。

児童福祉行政に、より専門的な立場から助言、指導できる保育士を配置すべきと思うがどうか伺う。

熊坂市長

問

そのことについて、現在検討している。

熊坂市長

問

私は市が示すようにサービスの拡大はできない

答

多様化するニーズに応えるため民間のノウハウを活用し質の高いサービス及びサービスの拡大が図られる。

と思います。行政の民間委託の目的は、コスト削減であり、それにより厳しい運営費の範囲で



公立千徳保育所

## 質問 サンマの水揚げ減少の要員は

### 答弁 今後の漁に期待する

### 近江勝定



問

いよいよ本年度の「さんま」

問

金融バブルが一瞬にしてはじ

問

情報通信技術は、社会経済、医療、福祉、教育、行政など市民生活の様々な場面に浸透しており、その進展は、新たな地域間交流の創出などによる地域の活性化を図る上で重要な欠点となっている。

る。しかし、宮古港の水揚げは他港と比較すると少ないことから、当局ではその原因は何であると考えているか伺う。

私は、その原因はいろいろな要因があったと認識している。

例えば、2週間に4日しか操業できない規制、燃油高など。

宮古港の過去3年間の実績を量でみると、17年度約1万6千トン、18年度約1万7千トン、19年度2万トンであり、今年11月30日現在1万4千トンである。これから、昨年より6千トン減となっている。最近、銚子港の水揚げが飛躍的に多くなっていることから、来年度に向けて宮古市としては来年度に向けて対策を考えるべきと思うがどうか。

答

熊坂市長

全国の水揚げ状況は11月30日現在、数量は約29万トン、金額では約217億円と、いずれも前年並みとなっている。当市魚市場は約1万4千トンと前年の25%減少している。その要



宮古港に水揚げしたサンマ船

たのか。小泉政治以来国民はいつまで翻弄、漂流し続けなければならないのか、大いなる憤りと怒りを感じる。市長の現状認識と対応策を伺う。

## 質問 急変する経済、雇用対策は

### 答弁 最大限努力する

### 松本尚美



問

金融バブルが一瞬にしてはじけ、その影響は間髪入

問

情報通信技術は、社会経済、医療、福祉、教育、行政など市民生活の様々な場面に浸透しており、その進展は、新たな地域間交流の創出などによる地域の活性化を図る上で重要な欠点となっている。

答

熊坂市長

当地域の金型、コネクター産業は、携帯電話や自動車関連のため、11月になつて受注が急速に落ち、12月に入つて更に受注が2~3割以上減少していく。人員削減に追い込まれることが想定されることから、雇用安定のための助成金の活用、運転資金の確保のための融資制度の利用を進める。雇用と経営の安定に向か最大限努力する。

■戦略的な情報ネットの構築を中心検討するとともに、市の施設として漁船員の福利厚生施設の整備をする計画など、廻来船誘致対策をより一層強力に進めること。なお、12月に入つても、大量的の水揚げが続いている。前年並みの水揚げ量の確保ができる。

幅広い分野での基盤としてその必要性が認知されている情報ネットワークの整備が検討されていないが、その理由は何か。分野別、目的別、運用別に各々戦略を持った整備が必要と考える。



不況に苦しむコネクター産業

大については民間事業者へ引き続き要望する。情報通信技術の活用による情報化を進めていく上で、何のため、誰のための情報化であり、具体的に何を実行するかというコンセプトや、地域課題の解決に向けたビジョンを明確にしながら進めることと認識をしている。地域間の情報格差の是正を合わせ積極的に取り組む。

答

廣田総務企画部長

## 質問 市町村の合併は期限より目的が重要

答弁 合併協設置は川井村からの申し入れ

千 東 諭



問

平成の大合併  
は、全国の市町

村が約半分に再編され  
るなど歴史的な成果を  
収め、新宮古市も誕生  
した。他方、合併を希

望しながら合併できなかつた町  
村、住民の生活圏と行政区域が  
一致しない市町村、将来の行財  
政に不安を抱える小規模自治体  
などお存在することから新法  
が施行されている。県は旧法よ  
り山田町・岩泉町・田野畠村・  
川井村の広域的合併を示してお  
り、川井村との合併がなし崩し  
に既成事実化していくことは、  
新法や県の構想と整合しない。  
市長は将来的に4町村との合併  
が必要で、当面は新市建設計画  
に専念するとしてきたが、今般  
の整合性と川井村と合併しなけ  
ればならない理由、他町村との  
話し合いは持たれたか伺う。

答

熊坂市長

新宮古市は一体感の醸成  
を目指し、総合計画の実現に努  
めているところだ。本年7月  
3日、川井村長から合併協設置  
の申し入れがあり、宮古市のま  
ちづくりに参加したいというこ  
となので受け入れた。川井村の  
広大な自然を生かした更なる産  
業振興と、充実した基礎的自治  
体が目指せると考えているが、  
様々な支援処置を受けるには合

問

■公社一元化の協議はいかに

併新法期限内に合併する必要が  
ある。他町村には以前検討会設  
置を呼びかけた経緯があるが、  
協議に応じなかつたことから今  
回呼びかける考えはなかつた。



田老産業開発公社

## 質問 宮古病院病床削減案への見解を伺う

答弁 慎重に計画策定されるべき

竹花邦彦



問

県立病院等の  
発表され、宮古病院も  
53床の病床削減となっ  
た。これについて市は  
どう受け止め、地域住

民への影響などについて、どう  
考えているのか。市の見解と認  
識、今後の対応についての考  
え方を伺う。

熊坂市長

県計画案は、国の「公立  
病院改革ガイドライン」に基づ  
き策定されたと認識している。

病院改革ガイドラインでは、病床利  
用率が3年連続して70%未満と  
なつてゐる病院は病床数の見直  
しを行うこととされているが、  
宮古病院はこれに該当しない。  
全国的な医師不足や医療制度改  
革などで県立病院が厳しい環境  
に置かれていることは理解する。  
しかし、宮古病院は第2次保  
健医療圏の中核病院として、常  
勤の循環器科医師の配置など、  
本来果たすべき完結性の高い医  
療を支える医療資源を考慮した  
上で病床利用率を勘案し、慎重  
に計画策定されるべきものと考  
える。今後の対応については、  
当面静観する態度を取りたい。

答

廣田総務企画部長

前回の3市町村合併の際  
にも住民意向調査は実施してお  
らず、今回も実施する考えはな  
い。住民説明会などの開催によ  
り、市民意向を把握し判断した  
い。



宮古市・川井村合併協議会

問

■川井村との合併は、住民意向調査  
を実施し民意の把握を  
合併協議会では、合併  
をした場合の新市のまち

づくりのマスター・プランとなる  
「新市基本計画」を来年3月に  
策定し、その後に住民説明会の  
開催、6月の両定例議会で合併  
議決を行い、平成22年1月1日  
合併という想定スケジュールで  
議論が進められている。合併判  
断にあたつては住民説明会だけ  
では不十分であり、住民説明会  
とあわせ「住民意向調査」を実  
施し、民意を把握すべきものと  
考へるが、市長の考え方を伺う。

## 質問 リストラへの対応策は

### 答弁 効果的な助成制度を活用

崎 尾 誠



問

景気悪化に伴  
い多くの中小・  
零細企業が深刻な状況  
に追い込まれている。

当市の誘致企業と関連  
企業の状況はどうか。

リストラから市民の暮らしを守  
る手立てはどうか。

嶋田産業振興部長

答

9月のリーマンショック  
以降の経済危機は、輸出企業に  
大きなダメージを与え、当地域  
の金型・コネクター関連企業で  
は11月の受注が前月の2~3割  
以上の減少企業が大半だ。

市内誘致企業の12月1日現在

の従業員は、正社員961名、  
パートなど583名、計153  
名で4月比、正社員18名、パ  
ートなど11名、計29名の減少だ。

12月1日時点では、契約期間  
中の打ち切りや、正社員の指名  
解雇はない。雇用維持のため職  
安と連携し、国の「中小企業雇  
用安定助成金」の紹介やセミナ  
ーを開催する。

リストラなどは、関係機関と  
連携し、違法性のある場合は適  
正に対処する。離職者の求職支  
援は、県の貸付に対し、当初1  
年間の利子補給や、再就職のた  
め資格取得の支援などとする。

難しい。  
上見込まれるので財政状況から

答

熊坂市長

市民の収入は減り、負  
担が増える一方だ。国保  
は19年度決算では、7億円近い  
基金保有になるが、20年度の見  
通はどうか。無保障の子供が  
当市にもいるが、このことをど  
う考えるか。無保障の子供のた  
めにも義務教育終了まで医療費  
の無料化を図るべきでないか。  
そのための費用はどの程度か。

問

■無保障の子供をどう考えるか



第一次産業で不況をチャンスに

## 質問 景気対策について

### 答弁 緊急雇用対策本部を設置

茂 市 敏 之



問

世界同時株安  
といふ重大な金  
融危機が発生した。日  
本の主要な業界に重大  
な影響を与えていた。

各企業とも生き残った  
め、増資、合併、減産、人員整  
理を進めていた。当市への影響  
は、燃油高騰などの話でないと  
思うが、市当局は、この未曾有  
の事態をどう認識しているか。

答

熊坂市長

電子部品業に影響が出ていると  
聞いたが、どのように把握して  
いるか。また、その対策をどう  
考えているか。内定取消しの状  
況はどうか。

答

熊坂市長

現在の経済状況は、リーマンショックを契機としている  
もので、世界的な経済危機にな  
ることを心配している。当市の  
電子部品業は、11月の受注が前  
月の2~3割減となっている。

市の方策として、本日、私を本  
部長とする、宮古市緊急雇用総  
合対策本部を設置した。中小企  
業緊急雇用安定助成金の企業へ  
併用により対応する。新卒者の  
内定取消や人員整理は発生して  
いないが、今後、人員削減に追  
い込まれる企業が出ることが想  
定されるので対応を考えたい。



消費が落ち込む商店街

答

熊坂市長

これら建築工事の発注には、特定建設業の許可を得てい  
ることが入札参加資格となる。  
当市では5社が該当する。競争  
性を確保するため宮古、久慈、  
釜石地方振興局管内に広げ、応  
札可能者数を14社として発注し  
てきた。市内業者のみに入札は  
現状では困難と考える。

答

熊坂市長

宮古市発注の建築工事につ  
いてが、21~22年度に集中す  
る。億を超える工事だけでも21  
億円以上となる。宮古市の景気  
回復のためにも、市内業者のみ  
に入札させる事を考えてもら  
たいが、市長の考えはどうか。

問

世界同時株安  
といふ重大な金  
融危機が発生した。日  
本の主要な業界に重大  
な影響を与えていた。

## 質問 介護保険料はどう変わるか

答弁 現行の保険料水準維持に努力する

藤原光昭



問

介護現場で働く職員の待遇改善のための介護報酬を3%引き上げることにより、保険料はどう変わるか。また、2号被

保険者の保険料も同時に変わると思うがどうか。

答

熊坂市長

現行の3、985円の保険料額を上回る負担を軽減するため、財政調整基金の活用を図り、現行水準の維持に努める。40歳から65歳までの保険料は、加入している医療保険の算定で決まる。

■教員住宅の在り方について

問 教員住宅が数年にわたって空室になっている所が多い。管理が行き届いていない現状をどう把握しているか。借地は何力所で今後の対応は。

また、調査し処分が必要な住宅は、解体し地権者に返すべきと考えるが。

沼崎教育部長

教員住宅は合計52戸で未

入居は24戸の状況だ。老朽化もあり、今後の状況などを調査し、通勤が困難な場所で、学校経営上管理職などの入居が必要な住宅の確保など考慮し、計画を策定する。借地は18戸だ。入居の見込みがない場合、所有者と協

答

佐藤都市整備部長

委託業者数は、宮古地区20社、田老地区9社、新里地区8社、除雪機械は市の所有8台と、借り上げ14台、委託業者52台の計74台で対応する。協力者のオペレーターの減少もあり、除雪体制を維持していくことが困難な状況になりつつある。

地域の皆様の協力が欠かせない今後も、市民生活に支障を及ぼさないように努力する。



介護現場風景(紫桐苑)

## 質問 市営住宅の早期建て替え計画を

答弁 新たな住宅活用計画を策定する

阿部功



問

市内4カ所に

ある雇用促進住宅の廃止が決定し、現在入居中の130世帯に対し12月31日までに契約期間が満了する方

答

佐藤都市整備部長

雇用促進住宅の廃止に伴い、入居者の動向を注視しつつ市場調査と民間住宅の需給状況を精査し、新たな住宅ストックを総合計画を策定する。また、雇用促進住宅の譲渡を希望しない理由は価格が約6億円、そのほかに初期修繕費が1億7千万円と膨大な経費となり、取得できない。

■適正な間伐計画であるか

問 いわての森造り県民税における宮古市民の納稅額と、森林率90%以上を占める

当市には、年間120haの間伐を必要とする森林があるが、森造林計画は当市にとって、適正な間伐面積が確保され、その3年間の間伐実行結果は適正か。また、この間伐実行上の地域課題や問題点は何か。

答

熊坂市長



退去が求められている近内雇用促進住宅

税率は個人が年間1,000円、法人は均等額の10%相当額で、当市の税収額は平成18年度2、687万円、19年度2、735万円、20年度見込み2、800万円である。当市の間伐実績は、平成18年度60ヶ所で2,5、800万円、20年度は12ヶ所で5、700万円を予定し、契約期間が満了する方が見つからない方には平成22年11月30日まで期間が延長されている。この廃止計画により市営住宅の立て替え計画の早期見直しが必要でないか。

**質問** 地デジ放送の難視聴対策は

答弁 国・県・放送事業者と連携し解消する



中嶋榮

問

① 難視聽地域

■**入札及び契約の改善を早急に**

④経済的に困窮度が高い生活保護世帯には21年度から22年度にチユーナーの給付計画がある。

③单品スライド条項の的確な運問

①前金払いの運用は。  
②早期発注の考えは。

きるよう改訂した。  
②宮古市では、国全体の公共工事の減少により、厳しい需給事情が続いている実情を踏まえ、今年度発注見込額の80%を発注しており、今後も早期発注に努める。

③単品スライドは7月1日に運用基準を定め、鋼材類と燃料油の2品目を対象に運用してきた。他にも原材料費の高騰があり、9月16日を適用日とし対象資材の拡大を行い運用している。

答 ①難視聴地域への対策について、8月と9月に説明会を開き補助制度の説明をし、組合施設のデジタル化改修工事は20年度10組合、21年度28組合、22年度4組合を予定し、国、市の補助金を活用し支援する。  
②市が所有する建物による受信障害施設は、総合体育館、市民文化会館で受信障害が発生しているので改修工事を実施する。

窮度が高い人たちへの支援の考え方を伺う。

熊坂市長

用はなされていいるのか。



電波障害が生じる宮古市総合体育館 シーアリーナ

## 質問 予算に議会意見はどう反映

## 答弁 20年度から道路維持費等を増額



問

每年度予算組

出崎地区の漁船員福利厚生施設の来年度整備に向けた実施設計の計上などがある。

21年度は市民税の大幅な減収が見込まれるが、決算委員会などの意見や評価結果を施策に反映させるため、既存事務事業の見直しや優先度を考慮した選択

算時の議会の意見は予算編成に有効に機能しているのか。代表的な事例は何か伺う。

目標に照らし、達成度評価をもとに廃止、縮小、継続、拡大の判断が示されるが、内部評価だけでは、その妥当性や客觀性に疑問が残る。昨年度から外部評価導入されたが、そもそも市政の評価義務は議会にある。予・決

## ■県立病院再編への対応は

A black and white photograph showing the exterior of a modern hospital building. The building features a tall, light-colored concrete tower on the left side, which has a vertical slit window. To the right of the tower is a lower, multi-story section with a glass-enclosed entrance. The facade of the lower section has many small rectangular windows. In front of the building, there is a parking lot with several cars and a small sign with a 'P' for parking. The background shows some trees and a clear sky.

**答** 佐々木保健福祉部長  
市民の安全・安心の医療確保には県立病院の単独努力は限界であり、地域の医療機関をはじめ、関係者が一体で県立病院を支えることが求められる。病床削減は県立病院の機能を考慮し、慎重に計画すべきと考

病床の削減が心配される県立宮古病院

# 行政視察報告——経済常任委員会——

経済常任委員会は、7月14日から7月16日にかけて、秋田県能代市と青森県青森市、八戸市の3市の行政視察を行いました。

## 1. 秋田県能代市技術センター

当技術センターでは、天然秋田杉の集積地の「木都」としての都市を形成するには、産業に加え、木の文化を醸成する必要があり、歴史と文化の香りづくり事業として、3つのテーマを実践している。

1つ目は、「人づくり」で木に関連する高等教育機関の立地、促進、子供からお年寄りまで広く市民が木に親しみ学習する場所の確保を図っている。

2つ目は、「イメージづくり」で木の文化などに努め、小・中学校の机、椅子やフラワーボックス、木を使ったバース停などを作っている。

3つ目は、木の良さを生かした工法、設計、デザインの導入、公共施設の木造化を推進している。

特に注目したことは、小・中学生が入学時より使用した机などを記念としてプレゼントされるため、大切に使用されているということであった。

## 2. 青森県青森市水産指導センター

この指導センターでは、ナマコの種苗生産及び漁獲状況と今後の展望並びに種苗生産の取り組みと販売、ブランド

ド化について研修した。稚ナマコの成長差をいかに縮めるか。生残率をいかに高めるかなどが検討課題であった。

## 3. 青森県八戸市

### (株)ファーストインターナショナル

この企業では、平成6年の八戸市にコンテナー船入港をきっかけに現地企業として貿易商社を資本金7千万円でスタートさせた。現在の主要取引国は台湾である。3～4年前から黒字になり、昨年は売り上げ11億円である。

今後の見通しとしては、農産物の輸入を中心に年間2万5千トンの取り扱い、水産物の輸出を増やしたい。八戸港にだけにこだわらず、他港からの輸出入も扱っていきたいが、いろいろな課題があるということだ。(次回は建設常任委員会を掲載します。)

平成19年7月6日に議会制度検討委員会が設置され、議長より「議会基本条例」及び「政治倫理条例」の上程を目標に19回の会議、2回の講演会、4回の議会全員協議会、5会場での市民との意見交換会などを行い、平成20年6月18日に原案可決されたということであった。

二元代表制に主眼をおいた議会改革は、いかに市民を取り込むかが課題であり、宮古市議会でも市民の声を聞きつつ他市議会を参考にして今までの方法を見直す勇気が必要だ。議会改革、議会活性化は制度や運営を変えればよいものではなく、市民に信頼される開かれた議会運営、議会活性化のために有意義な視察であった。

# 議会運営委員会行政視察報告

議会運営委員会は、6月30日から7月2日まで研修視察を行いました。

## 福島県会津若松市議会における議会改革の取り組みについて



議会運営委員会行政視察 (会津若松市)

## 宮城県白石市議会における議会活性化への取り組みについて

平成16年「議会改革特別委員会」を設置し、主に議員定数を協議、議員提案により、条例定数を3名削減し、全会一致で可決し、平成19年4月選挙より施行した。

常任委員会の数を4から3に削減し総務財政、建設産業、教育民生（各定数7名）に改編し、任期は同じ2年とした。

選挙費用について公費負担としたことにより、若い世代の立候補を容易にし、議会改革をしようとする気持ちを感じられ、地方議会の自主性による議会運営を行う上で非常に役立つものがあつた。

煙台市で  
六次会三度目一

去る、11月10日から12日までの3日

間、熊坂市長、後藤泌尿器科皮膚科医院院長後藤康文先生とともに、中国煙台市を公式訪問いたしました。



左方5 熊坂市長、三上議長、張緯利副主任

煙台市の議会に当たる人民代表大会を訪れた際には、同大会の主要な方々に熱烈な歓迎を受け、記念品として黒森神楽の清払いの面を贈呈しました。

今回の訪問は、宮古市と烟台市の友好協力都市締結15周年を記念したもので、烟台市人民政府李淑芹副市長、烟台市人民代表大会張緯利副主任を表敬訪問し、後藤先生と医療分野で交流を続いている烟台經濟技術開発区医院を見学いたしました。

その後、張副主任主催の晩さん会が催され、訪問団を代表し、市議会議長として、友好協力に対するお礼とさらなる友好の絆を深めることを願い挨拶をしました。

議会の動き

員研修会／経済常任委員会

9  
月

9月定例市議会／食育地産地消推進議員連盟理事会／総務常任委員会／教育民生常任委員会／建設常任委員会／経済常任委員会／本会議／食育地産地消推進議員連盟総務部会／同農林部会／同水産部会／本会議／第19回宮古市長杯争奪学童相撲大会／みやこ食と農林水産のまちづくり条例に係る説明会  
**10月**  
決算特別委員会／外航客船「アムステルダム」入港歓迎式／議会運営委員会／宮古市産業まつり／決算特別委員会／議員全員協議会／経済常任委員会／議会運営委員会／議員全員協議会／本会議／食育地産地消推進議員連盟理事会／総務部会／第3回宮古市・川井村合併協議会／浄土ヶ浜博物展示施設建築工事安全祈願祭／議会広報編集特別委員会／シートピアなど開業5周年などまつり／八幡平市山賊まつり／第62回田老地区体育大会／第32回正しい交通ルールを守る運動宮古地方交通安全大會／議会運営委員会／第27回新里まつり／宮古市・八幡平市両市議会議員合同研修会／暴力追放宮古地区推進パレード／尾花沢市議会行政視察受入／教育地産地消推進議員連盟理事会／総務部会／都留市議会行政視察受入／宮古地区広域行政組合10月定例議会／議会宣報編集特別委員会／岩手県市議会議

10  
月

決算特別委員会／外航客船「アムスルダム」入港歓迎式／議会運営委員会／宮古市産業まつり／決算特別委員会／議員全員協議会／経済常任委員会／議会運営委員会／議員全員協議会／本会議／食育地産地消推進議員連盟理事会／総務部会／第3回宮古市・川井村合併協議会／浄土ヶ浜博物展示施設建築工事安全祈願祭／議会広報編集特別委員会／シートピアなど開業5周年などまつり／八幡平市山賊まつり／第62回田老地区体育大会／第32回正しい交通ルールを守る運動宮古地方交通安全大会／議会運営委員会／第27回新里まつり／宮古市・八幡平市両市議会議員合同研修会／暴力追放宮古地区推進パレード／尾花沢市議会行政視察受入／教育地産地消推進議員連盟理事会／総務部会／都留市議会行政視察受入／宮古地区広域行政組合10月定例議会／議会報編集特別委員会／岩手県市議会議

12月

第7回和井内ふるさと収穫祭／議会広報編集特別委員会／宮古地域県立病院運営協議会／教育民生常任委員会／議会運営委員会／議会全員協議会／11月議会臨時会／食育地産地消推進議員連盟全体会議／同総務部会／第4回宮古市・川井村合併協議会／議員全員協議会／教育民生常任委員会／議員定数等検討特別委員会／宮古市田老鮭・あわびまつり／食育地産地消推進議員連盟全体会議／経済常任委員会／叙勲受章記念祝賀会／宮古市単独要望活動／多良間村児童生徒歓迎会

## 緊急雇用対策本部を設置

今度の議会では景気・雇用対策を求める一般質問が3名の議員からあり、当局では議会開会中の10日、県内市町村で初の緊急雇用総合対策本部（本部長・熊坂市長）を設置しました。

一部局横断的な全庁組織で、情報収集、市民生活への影響調査・対策、企業の支援、離職者対策などに関する機能強化を図ります。

## 傍聴席

市役所に所用で出かけたところ、市議会放送が流れている。これまで興味はあったが、自分には縁がないと思っていた。しかし、簡単に傍聴できると聞き、早速上がって行った。

凛とした空気の中で、生活に密着した問題を真剣に質疑応答している様子にぐんぐん引き込まれた。でも質疑する市議と応答する市側のそれぞれの立場による温度差を感じた。

今回、私も初めて傍聴したが、傍聴者が少なかったことがとても残念だと思った。男性議員が大半で女性議員が一人なので、もっと女性が増えたら、また違った雰囲気になると思う。

こんな時代だからこそ、宮古市を住み良い街にしようと尽力している市長を初め、市職員や市議の皆様の声に耳を傾けることによって、市の様々なことが決定していくプロセスを知り、自分なりに市政について考えてみたいと思った。

市民として傍聴することが大事な一歩だと考えさせられる機会になった。

宮古市実田 藤原 久美子

## お知らせ

3月定例議会は2月17日招集予定です。

○議会広報編集特別委員会  
委員長 副委員長 委員  
阿藤茂近 佐々木 崎 高屋敷  
部原市江木 宇都宮 尾  
光敏勝 松勝 吉  
功昭之 定夫 幸誠藏

メールアドレス  
gikai@city.miyako.iwate.jp



12月定例議会の傍聴者数				
12月5日(金)	9日(火)	16人	2人	
10日(水)				
12日(金)	12人			
計	5人			
	35人			

新しい年を迎え、皆さまが新しい年1年がよい年になるよう願っていることだと思います。宮古市も合併から早いもので4年が経とうとしております。議会広報も今回で第14号となりますが、この間、悪戦苦闘しながらも市民の皆さんに読んでいただけた様に努めきました。今年も、議会の論戦を的確にとらえ皆さんに読んでまいります。広報の発行に努めてまいります。皆さまのご意見、ご提言をお待ちいたしております。  
(佐々木松夫)

## 編集後記